



# 2025年1月期 第1四半期 決算説明資料

**ベステラ株式会社**  
東証プライム(証券コード:1433)

# 決算のポイント

## 売上高

**2,958**百万円

- ・組織体制の強化や順調な採用活動、新規営業活動への注力により、第1四半期会計期間において過去最高売上を達成
- ・対前年1,421百万円(92.4%)増
- ・2025年1月期業績予想に対する進捗率は29.6%

## 営業利益

**17**百万円

- ・営業利益は、増収効果が当四半期会計期間に終了する不採算工事清算の影響等を吸収し、対前年52百万円増となり、V字回復

## 受注残高

**7,110**百万円

- ・過去最高の完成工事高を上回るペースで受注をしつつ、引き合いの状況も極めて良好に推移

## 業績予想（上方修正）

- ・売上高は、好調な受注を背景に11,000百万円に上方修正
- ・営業利益は、スクラップの売却益や追加工事の獲得により、下期にかけて利益額が大きく上振れる予定のため、500百万円に上方修正

## トピックス

- ・累進配当の導入(株主還元方針の変更)
- ・持続的に事業成長可能な年齢構成
- ・従業員エンゲージメントの向上

# 業績予想の上方修正

2025年1月期の業績予想について、売上高は、好調な受注・売上進捗を背景に上方修正いたしました。また、各段階利益も、スクラップの売却益や追加工事の獲得により、下期にかけて利益額が大きく上振れる予定のため、当初業績予想を上回って着地する見込みであります。

単位: 百万円

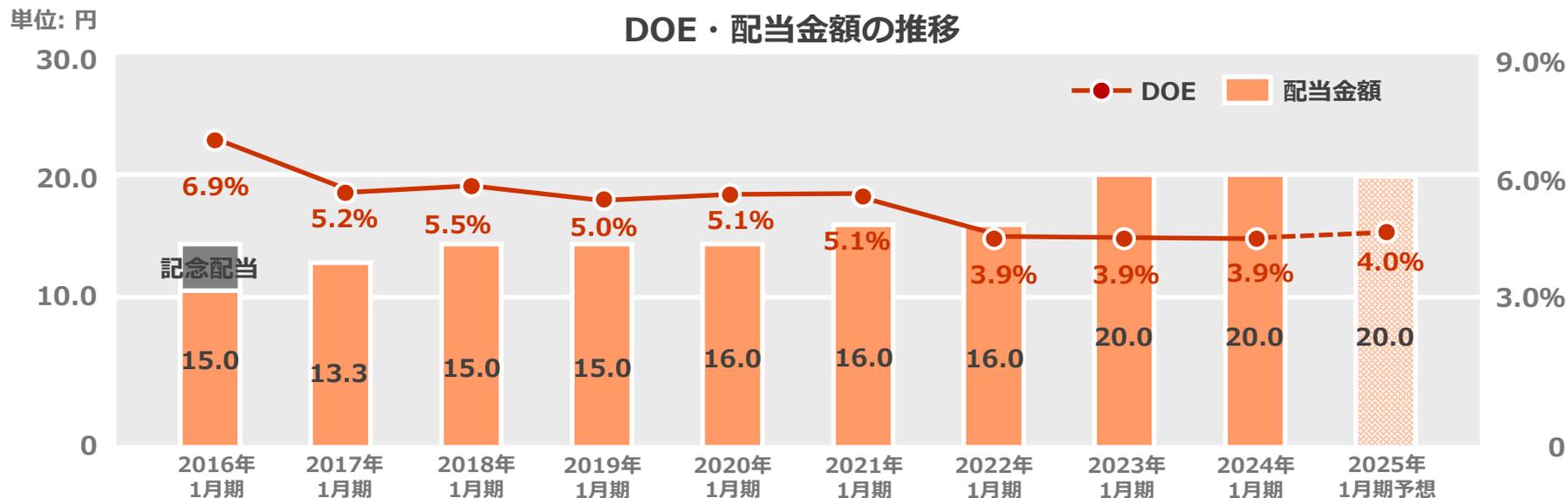
2025年1月期 業績予想				
通期				
	修正後	当初	増減額	増減率
売上高	11,000	10,000	1,000	10.0%
営業利益	500	420	80	19.0%
経常利益	600	520	80	15.4%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	400	350	50	14.3%
1株当たり 配当金	20円	20円	—	—
配当性向	44.3%	50.6%	—	—

# トピックス① 累進配当の導入(株主還元方針の変更)

株主還元の一層の充実並びにより長期安定的な配当を行っていくことを明確にするため、2025年1月期より、累進配当を導入することといたしました。

- ・より資本コストを意識した経営指標として、株主資本※を基準としたDOEを採用
- ・ **配当性向40%、DOE3.5%以上**を目安とする（**ROEは13%以上**を目標）

※その他の資本の構成要素（有価証券評価差額、為替換算調整勘定 他）を除く。

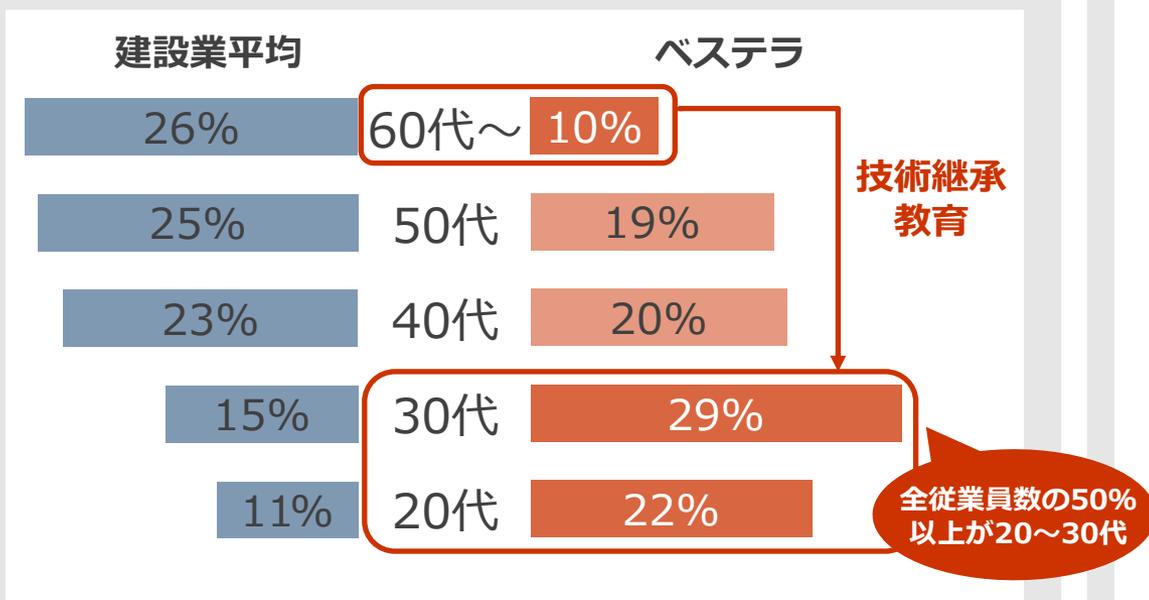


※配当額は、株式分割後の金額で計算しております。（2016年2月1日に1：2、2017年2月1日に1：3の株式分割を実施）

## トピックス② 持続的に事業成長可能な年齢構成

当社の年齢構成は20代～30代が半数以上を占め、持続的に事業成長可能な人員構成となっております。当社では若い世代の成長を促進するとともに、ベテランから新入社員へ技術継承を図るため、定年後再雇用に関する考え方を整理いたしました。

### 年齢別就業者数



※ベステラ：2024年4月1日現在  
※建設業平均：2023総務省労働力調査

### 当社の定年後再雇用制度

- ・ **定年前の給与を100%維持**
- ・ 契約社員として65歳までの雇用を保障
- ・ 65歳以降も希望者は働き続けることが可能
- ・ 出張の有無、勤務日数、勤務時間等の働き方の希望を考慮
- ・ 組織長だった社員は役職を外れて次世代にポストを譲り、組織の新陳代謝を促進
- ・ **ベテランから新入社員へ、技術継承を図るための教育プログラムを拡充**



# 損益計算書：第1四半期(2025年1月期)

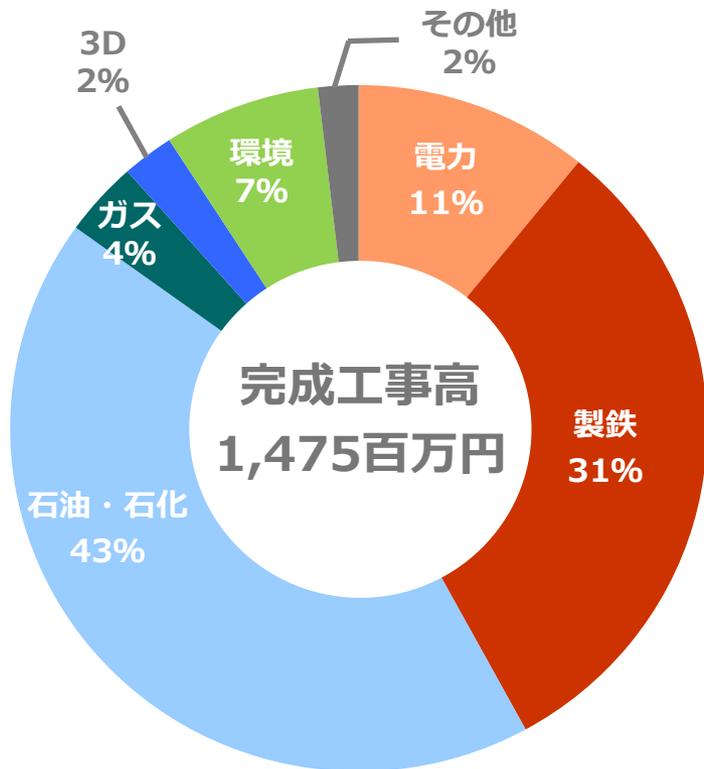
売上高は、組織体制の強化や順調な採用活動、新規客先の獲得が進んでおり、第1四半期会計期間において過去最高額を達成しました。営業利益は、一過性の工事損失が利益率を一時的に押し下げておりますが、業績予想修正の通り、下期には回復する見込みであります。

単位：百万円

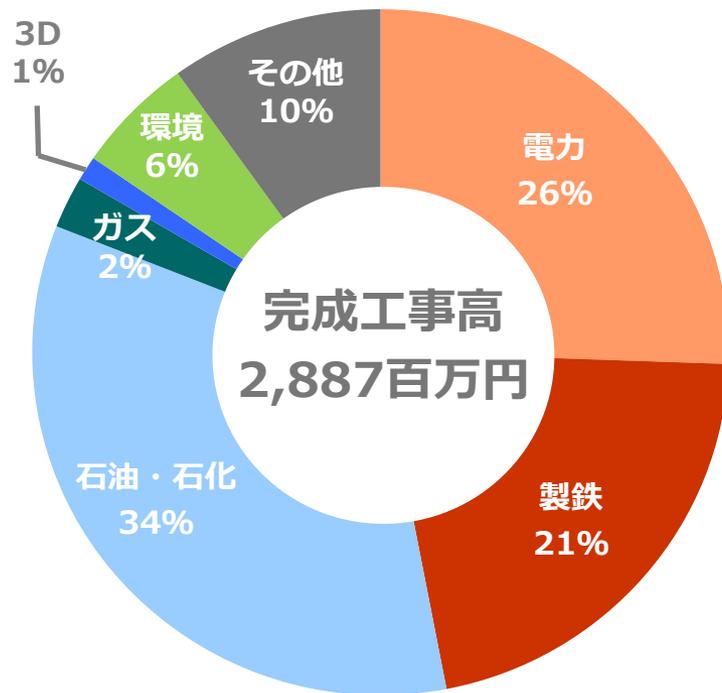
	2025年1月期 第1四半期	対売上高 比率	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	<b>過去最高</b> 2,958	—	1,537	1,421	92.4%
(うち完成工事高)	(2,887)	—	(1,475)	(1,411)	(95.7%)
売上総利益	392	13.3%	218	174	79.7%
販売費及び 一般管理費	375	12.7%	253	121	47.8%
営業利益	17	0.6%	▲35	52	—
経常利益	15	0.5%	▲37	52	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲29	—	▲31	2	—

# 業界別 完成工事高構成比率

2025年1月期は、積極的な営業活動により、電力、石油・石油化学分野での新規客先の獲得が進んでおります。第1四半期会計期間において、過去最高の完成工事高となりました。



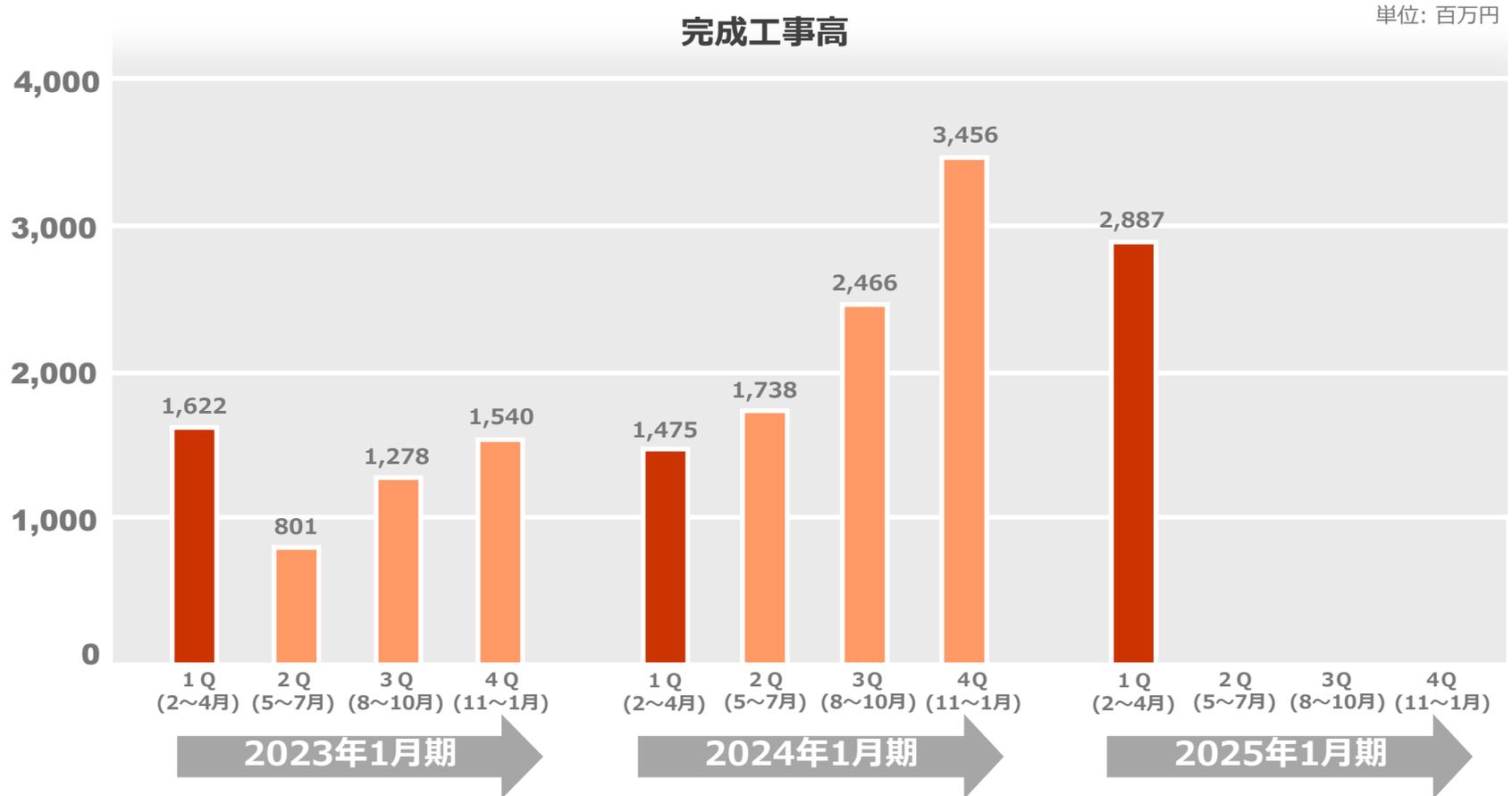
2024年1月期（第1四半期）



2025年1月期（第1四半期）

# 完成工事高の推移について

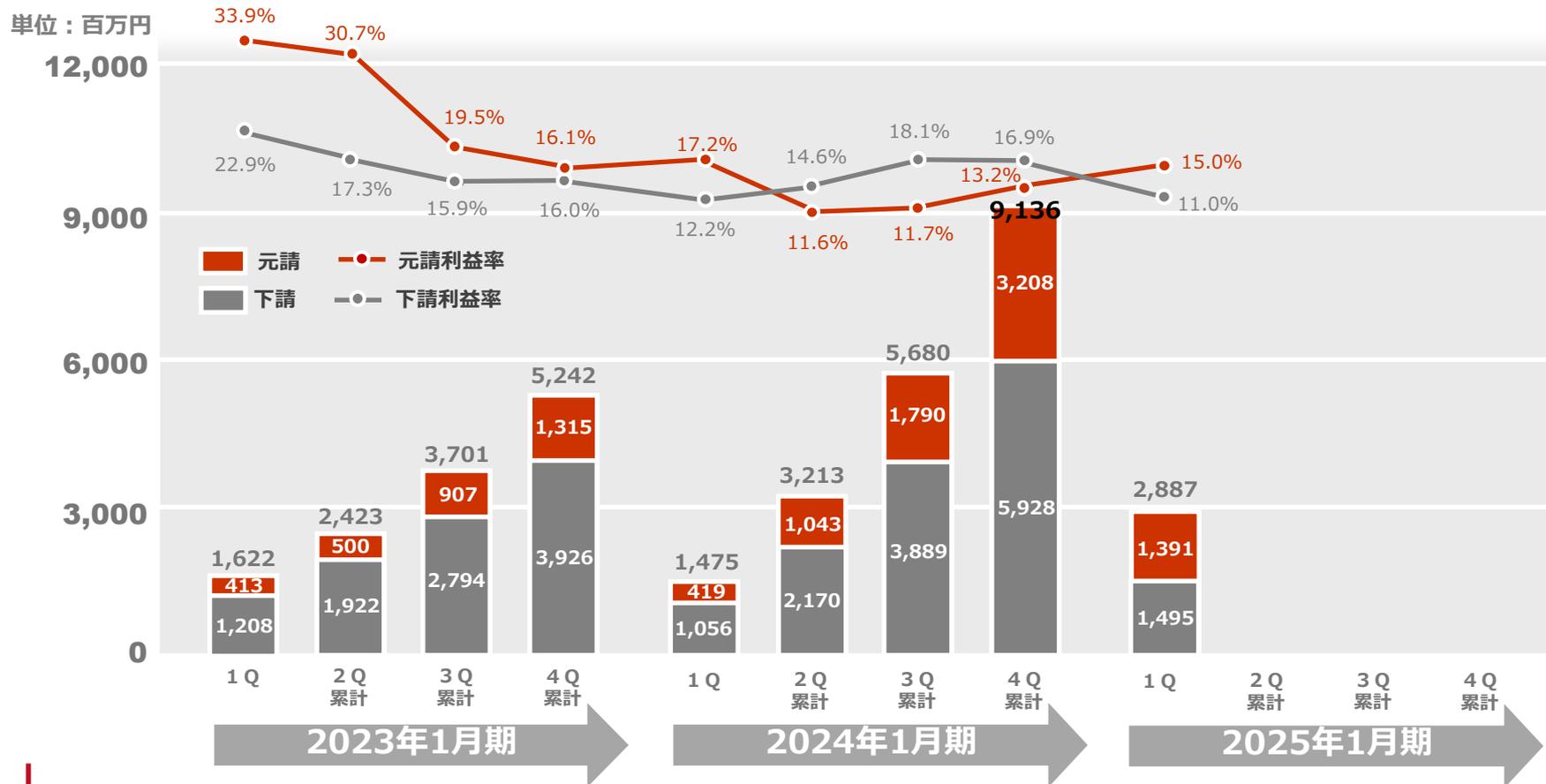
当社の完成工事高は、例年、顧客（施主）の設備投資計画に応じた季節性があります。今期も例年と同じく下期に完成工事高の増加を予定しており、当初計画値を上回って着地する見込みであります。



# 完成工事高に占める元請案件の推移

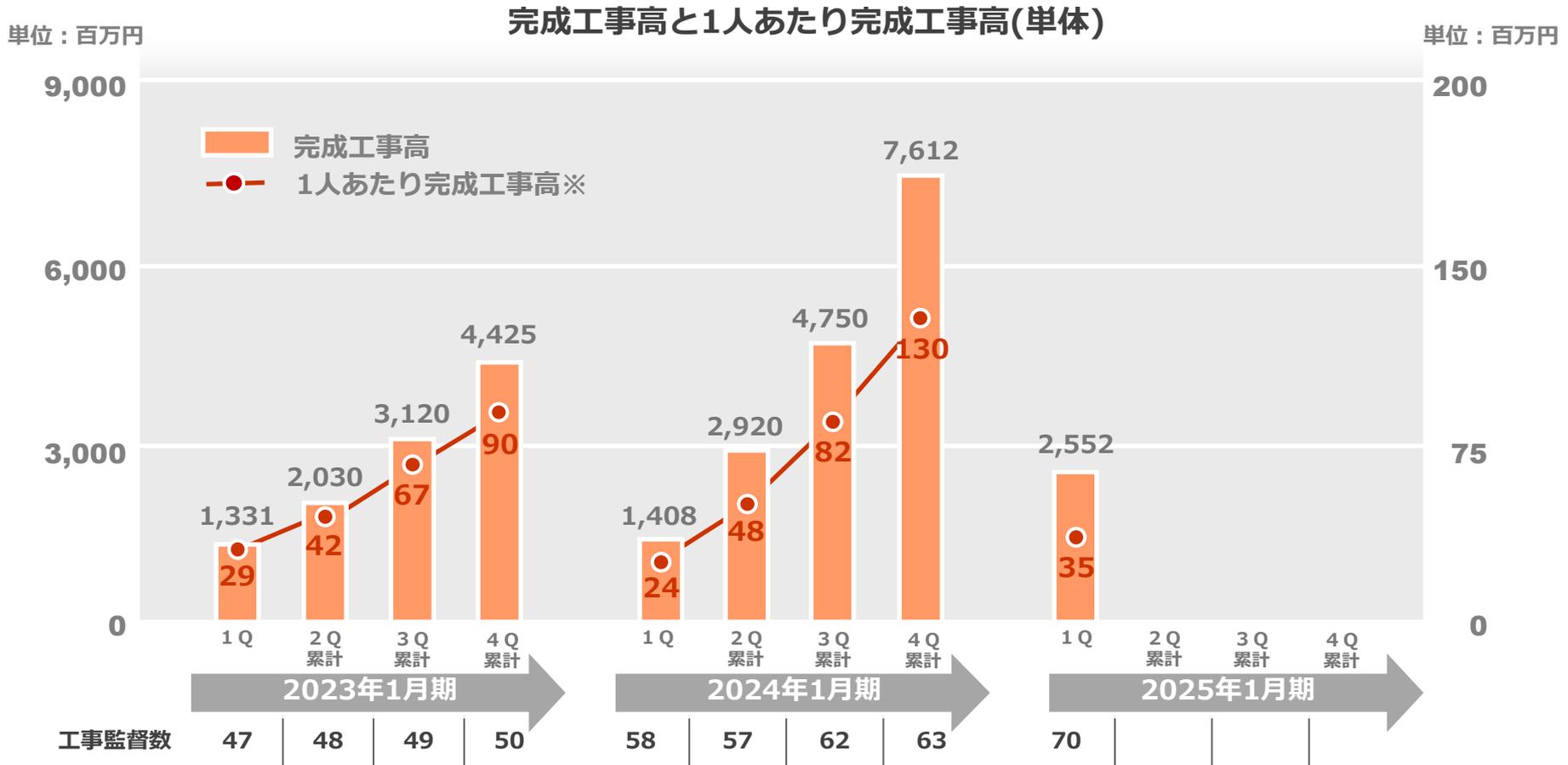
積極的な新規営業活動により、元請工事の割合が過去最高の48%となりました。スクラップの売却益や追加工事の獲得により、下期にかけて利益率が回復していく見込みであります。

完成工事高と売上総利益率



# 1人あたり完成工事高(単体)の推移について

採用は順調に進んでいるものの、好調な受注により工事監督者1人あたりの完成工事高は増加傾向にあります。安全に配慮しゆとりを持った受注ができる現場体制を確保するため、年間1億円(3か月間約25百万円)以下を目安として引き続き採用活動を強化いたします。



※総労働時間から算出した想定稼働人数で計算しているため、実際の工事監督数とは異なる場合があります。

# 販売費及び一般管理費：第1四半期（2025年1月期）

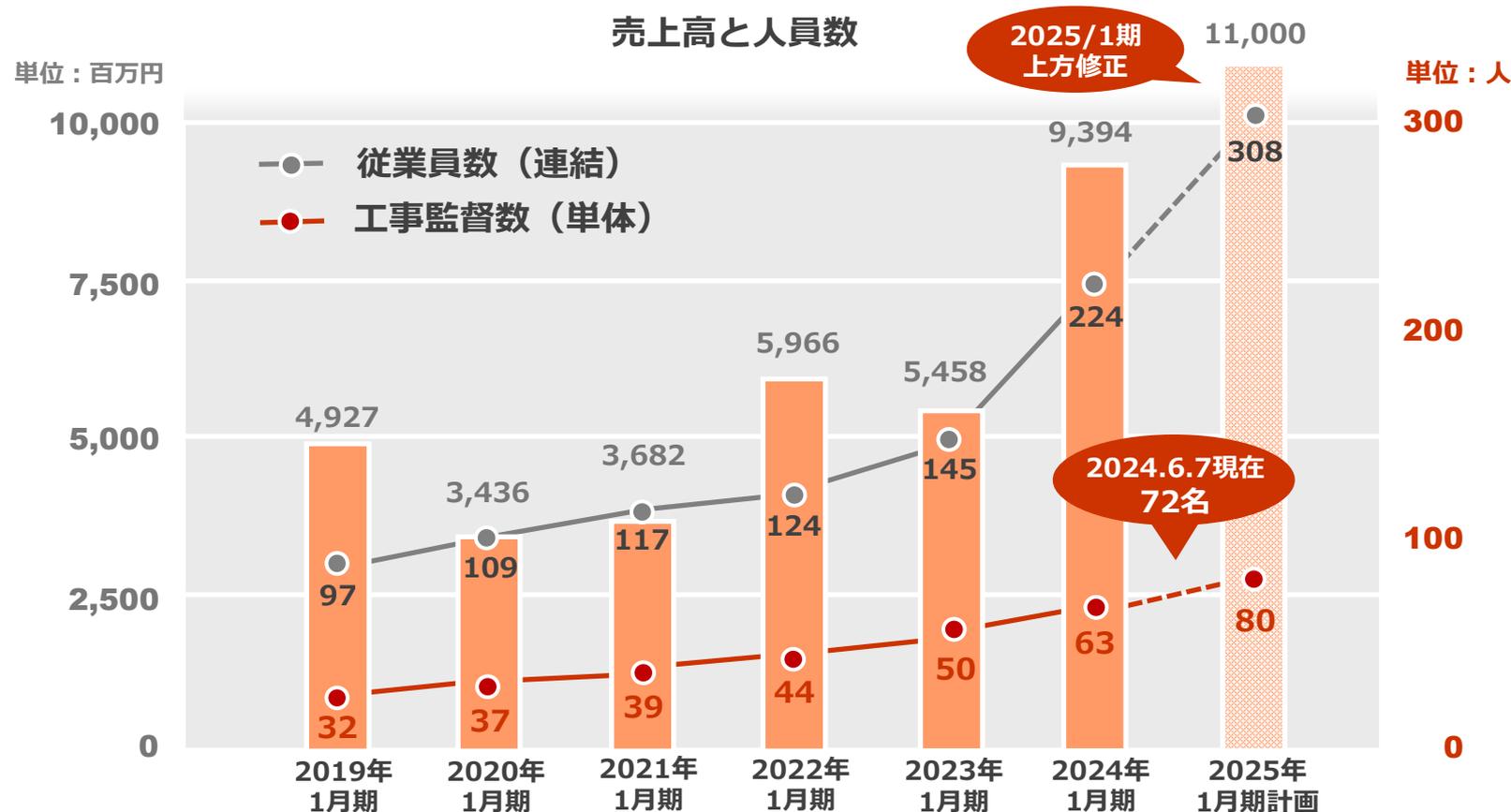
オダコーポレーションの子会社化に伴い販管費が増加しております。また、見積精度向上のためのAI開発、DX事業分野におけるロボット開発、CADソフトの機能開発を積極的に推進しております。

単位：百万円

	2025年1月期 第1四半期	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	主な増減要因
人件費	174	143	30	21.3%	人員増
研究開発費	19	0	19	—	AI開発プロジェクト、 ロボット開発、 AUSE機能開発
支払手数料 支払報酬	50	27	23	85.0%	システム費用
採用費	17	15	1	8.7%	広告媒体、紹介手数料
その他	113	66	46	70.0%	のれん償却
合計	375	253	121	47.8%	オダコーポレーションの 子会社化による増減額： 約54百万円

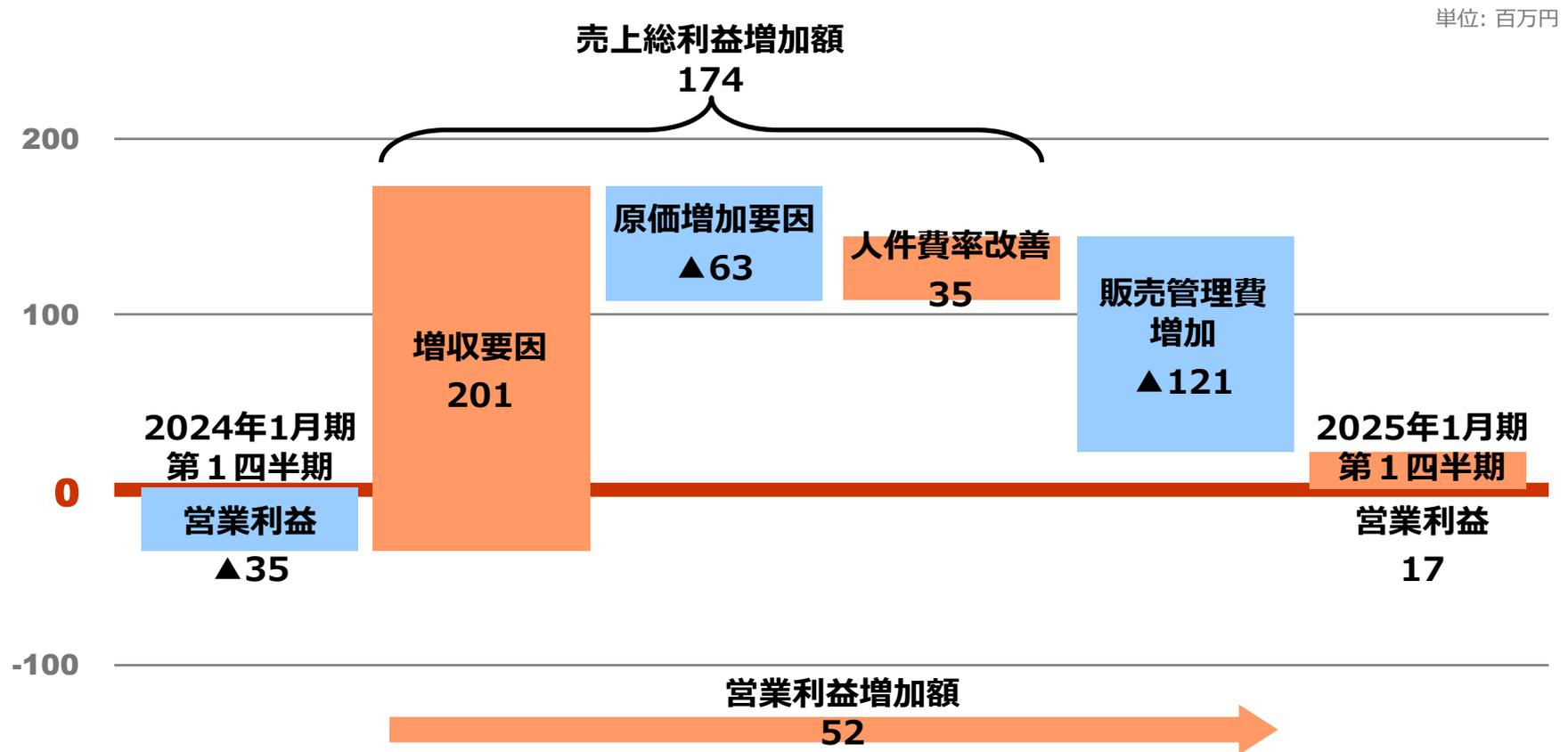
# 人員計画の進捗

発表日現在、工事監督数は、期首から9名純増（採用人数は12名、うち新卒は4名）の72名となっております。工事の計画や施工管理をサポートする工事サポート部隊の増員により、さらなる売上規模拡大のための体制を引き続き強化いたします。



# 営業利益の増減要因分析：第1四半期（2025年1月期）

売上の増収効果により、販管費の増加や不採算工事清算の影響等を吸収し、増益となっております。なお、不採算工事清算の影響は第1四半期で終了し、第2四半期以降は利益率が回復していく見込みであります。



# 貸借対照表：第1四半期(2025年1月期)

単位：百万円

	2025年1月期 第1四半期	前連結会計年度末	増減額	主な増減要因
流動資産	6,625	6,292	333	工事代金の回収による 現金預金の増加によるもの
(うち現金預金)	(2,170)	(1,444)	(726)	
固定資産	4,632	4,586	45	投資有価証券の評価替えによるもの
流動負債	5,517	4,985	531	運転資金確保のための 短期借入金の増加によるもの
固定負債	1,722	1,798	▲75	長期借入金の減少によるもの
純資産	4,017	4,095	▲77	配当金支払によるもの
総資産	11,258	10,879	378	
自己資本比率	35.6%	37.6%	—	
1株当たり純資産	452円	461円	—	

# 受注状況：第1四半期(2025年1月期)

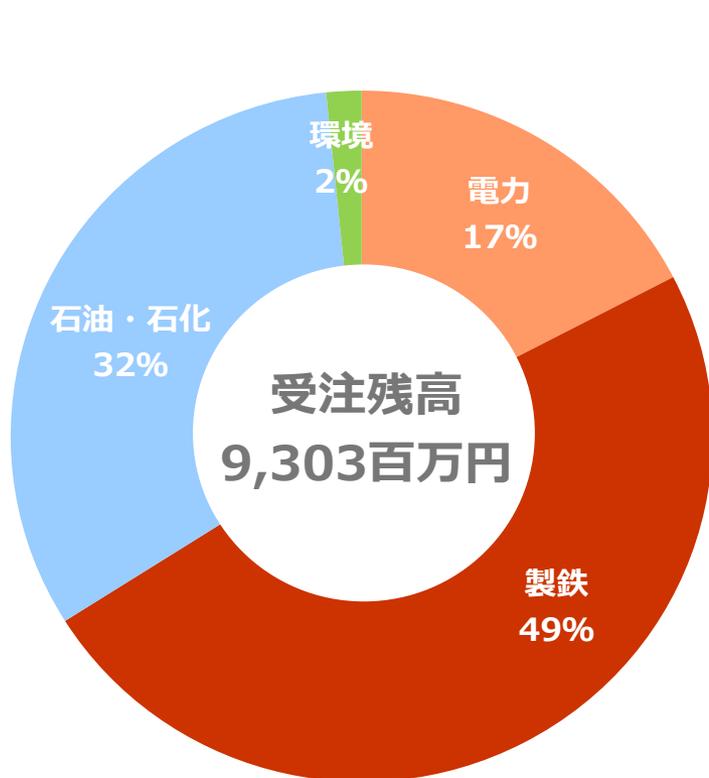
2025年1月期第1四半期は、過去最高の完成工事高を達成しつつ、それを上回るペースでの受注をしております。引き合いの状況も業界を問わず極めて良好であります。

単位：百万円

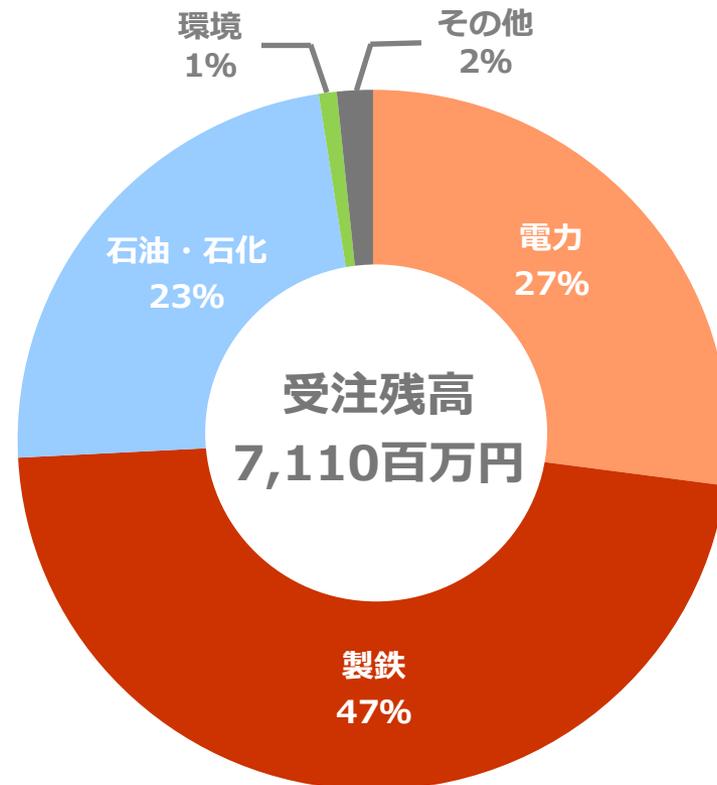
	2025年1月期 第1四半期	前年同期	増減額	増減率
期首繰越工事高	7,087	3,352	3,734	111.4%
受注工事高	2,910	7,427	▲4,516	▲60.8%
完成工事高	<b>過去 最高</b> 2,887	1,475	1,411	95.7%
期末繰越工事高 (受注残高)	7,110	9,303	▲2,193	▲23.6%

# 業界別 受注残高構成比率

前期からの電力、製鉄、石油・石油化学業界での大型工事が順調に進捗しており、2025年1月期においても同水準の比率で推移しております。



2024年1月期（第1四半期）



2025年1月期（第1四半期）

# 業績予想(2025年1月期)

2025年1月期の業績予想は、好調な受注・売上進捗を背景に上方修正しております。積極的な採用活動を行ってきたことにより、工事を施工する体制が整備・強化され、第2四半期以降は安定した利益が確保できる見込みであります。

単位: 百万円

	2025年1月期 業績予想(修正後)	2024年1月期 実績	増減率
売上高	11,000	9,394	17.1%
営業利益	500	246	102.5%
経常利益	600	407	47.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	400	231	73.1%
1株当たり 当期純利益	45円	26円	—
1株当たり配当金	20円	20円	—
配当性向	44.3%	76.7%	—

# 本資料についてのご留意事項

---

- 本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因を受けます。
- 本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

ベストセラ株式会社

